

New

Summer time



コンセプト

サマータイムの利点論が検討されていますが、賛否両論も数多くあるようです。弊害に
かかるエネルギーの削減というメリットをそのままに、弊害がなくなることで生じる
メリットを解消する良い方法はないか検討しました。
そこで、わたしたちは弊害の目撃を抑制した「サマータイム」を提案します。

【Summer time】

時計の針を一時進めて日没時間を遅らせ太陽の光
をフルに活用しようという夏時間のことで、四月の第
一曜日から十月の最終日曜日まで期間とする。

【summer time】の目的

- 夜間の照明時間を短くすることにより、エネルギー消費を減らす。
- 地球温暖化をもたらす二酸化炭素（CO₂）の排出量を削減する。

影響

幼児から老人まですべての国民に及ぶ。

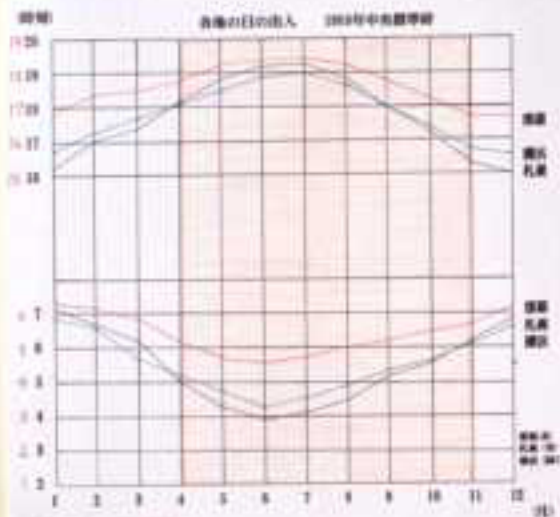
総理府の世論調査では
54%が導入に賛成。

注意

【summer time】は、実際七十カ国以上で実施されているが、
ここでの資料として、99年7月版の時刻表（航空ダイヤ編）を引用
したため、全てはわからなかった。



どうして省エネになるの？



赤の数字がサマータイムの時刻です。グラフから読みとれるように、日の出から日の入りまでの時間が有効活用できます。ただし日本は南北に長いので朝、出かける時に朝かりが必要な地方や夜、空が8時頃まで明るくなってしまふ、地方が出てきてしまう点が問題です。

日没が遅くなると

通常の7月

【summer time】を使用すると
西は、8時頃まで明るくなる。
……すると、照明の使用する時間を減らすことができる。

サマータイム実施中の7月



公共施設にて



吾家庭にて



通産省の試算では
サマータイムによって
エネルギー消費は原油換算で
年間50万キロ・リットル減る。





問題点がありますか？

生活時間の変化



夜間入眠がさらに増える

ドライブに行く人が増える



ガソリン消費が増える

労働時間が長くなる？



就業時間の延長

家電製品の多くにタイマー機能がついている



年間・2回のタイマー調整

高齢の悪いイメージがある



昭和33年

まとめ

④④④④

主に照明時間の減少による省エネルギー効果

⑤⑤⑤⑤⑤

- 活動時間の変化によってガソリン消費量が増加する
- 季節によっては朝方照明が必要になる
- 精神的な負担（時間へ慣れるまで）

メリットは意外と少ない！

333

Summer time あらため



提案

太陽光の有効活用

sunny time

を提案します



Sunny time について

Sunny timeとは、太陽光を有効活用し省エネルギー効果をねらったものです。

Sunny timeでは、日照時間に人間の活動時間に合わせていましたが、このシステムでは必要ありません。

サニータイムとは太陽の自動制御を利用して、昼間の屋から夜の屋へ光を光ケーブルで配るシステムです。

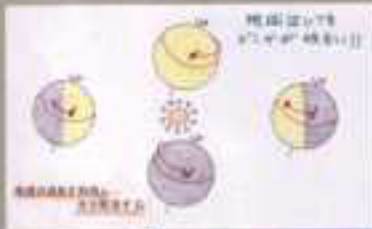
つまり、私たちは日照時間に合わせることなく常に太陽の光を有効に活用できるシステムを作りました。

Sunnytimeの原理



太陽 太陽光

Sunny timeの「Sunny」とは『明るく日が射す』『日あたりの良い』という意味です。



各国を光ケーブルで結ぶ



太陽光を有効に活用する「サニータイム」システム

